

いきがい交流センターで「いきいき事業」

洞爺村社会福祉協議会

美しい字を書きたい

書道教室

洞爺村社会福祉協議会では高齢者の生きがいのある生活を実現するため「いきいき事業」として各種教室を、いきがい交流センターにおいて開催しています。

一月二十三日は、書道の教室が行われ、講師の天野武夫さんは、「来る人は年賀状を筆



集中して基本的な筆使いの練習に励む

で書きたい、きれいな字を書きたいと言う。漢字を組み立てる点と画を練習すれば、後は形を整えれば美しい字が書ける。とにかく繰り返し書くことです。楽しみながら続けてほしい。」と話していました。

この日集まった皆さんは、時々質問したり指導を受けながら基本的な点や画、基本となる字を繰り返し熱心に書き続けていました。

誰でも時には、もつときれない字を書きたいと思うものではないでしょうか。月二回一時間半行われており、どなたでも参加できます。

黒の芸術

切り絵教室

一月二十四日は、鈴木孝さんを講師として切り絵教室が開かれていました。この日は、初めての参加者を含む七名の



細かい部分は、より慎重に作業を進める

皆さんが、講師の指導を受けながら切り絵に取り組んでいました。

長く続けている小学生たちは、独自に細かい作業を続けるかたわら、初めての皆さんも、最初にアートカッターで、基本的な紙の切り取り方を教わり練習した後、課題のバラ

の花の切り絵に取り組みまし

た。細かい部分に苦労しながらも、二時間の時間内で作品を仕上げて、「面白い」と満足した様子でした。

切り絵は、「黒の芸術」とも言われ、練習次第で黒だけで立体感を出し表現することができるといことです。皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。

寒さに負けないぞ

村民ナイタースキー教室

教育委員会と洞爺スキークラブの共催による村民ナイタースキー教室が、一月十、十三、十七、二十日の四回にわたり、ルスツスキー場において行われました。

厳寒のこの時期に毎年行われている事業ですが、七十名を越える参加があり、人気事業となっています。

小学生から大人まで幅

広い年代の参加があり、洞爺スキークラブの先生方のわかりやすい指導のもと熱心に練習をしていました。

今年は雪の降る中での教室となりましたが、参加者からはスキーがうまくなりたいという情熱と、寒さを吹き飛ばすやる気を感じられました。



寒さに負けず頑張る